

令和4年度協働事業等の調査結果について

1 後援・協賛

	令和3年度	令和4年度	増減
府中市後援	83件	136件	+53件
府中市教育委員会後援	56件	82件	+26件

2 政策形成過程への参画 審議会等

	令和3年度	令和4年度	増減
附属機関	76件	78件	+2件
その他の会議	15件	16件	+1件

パブリックコメント

	令和3年度	令和4年度	増減
実施件数	18件	6件	-12件
提出人数累計	27件	26件	-1件
提出意見累計	112件	112件	±0件

3 令和4年度に実施した協働事業について

実施事業数	令和3年度	令和4年度	増減
合計	173件	195件	+22件

協働先（参照：グラフ1）

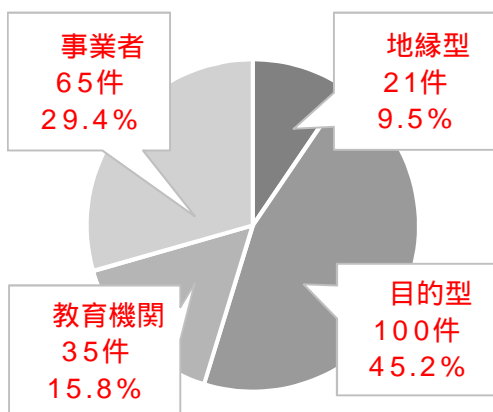
	令和3年度	令和4年度	増減
地縁型活動団体	21件	21件	±0件
目的型活動団体	83件	100件	+17件
教育機関	31件	35件	+4件
事業者	47件	65件	+18件
合計	182件	221件	+39件

1事業につき協働先が複数ある場合があるため、のべ団体数を集計

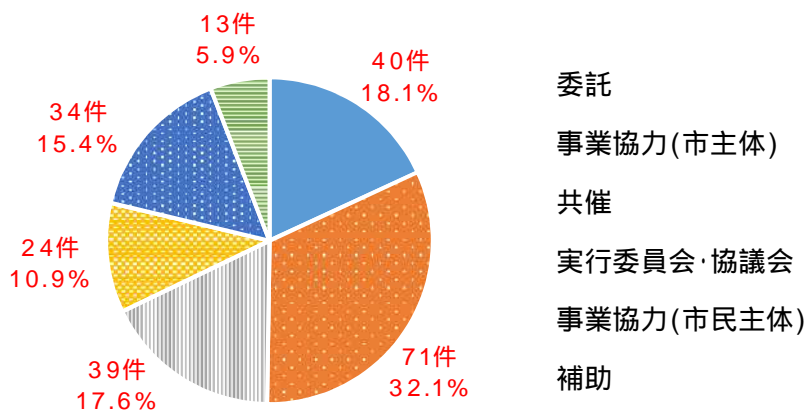
協働の形態（参照：グラフ2）

	令和3年度	令和4年度	増減
委託	38件	40件	+2件
事業協力（市主体）	53件	71件	+18件
共催	35件	39件	+4件
実行委員会・協議会	17件	24件	+7件
事業協力（市民主体）	19件	34件	+15件
補助	20件	13件	-7件
合計	182件	221件	+39件

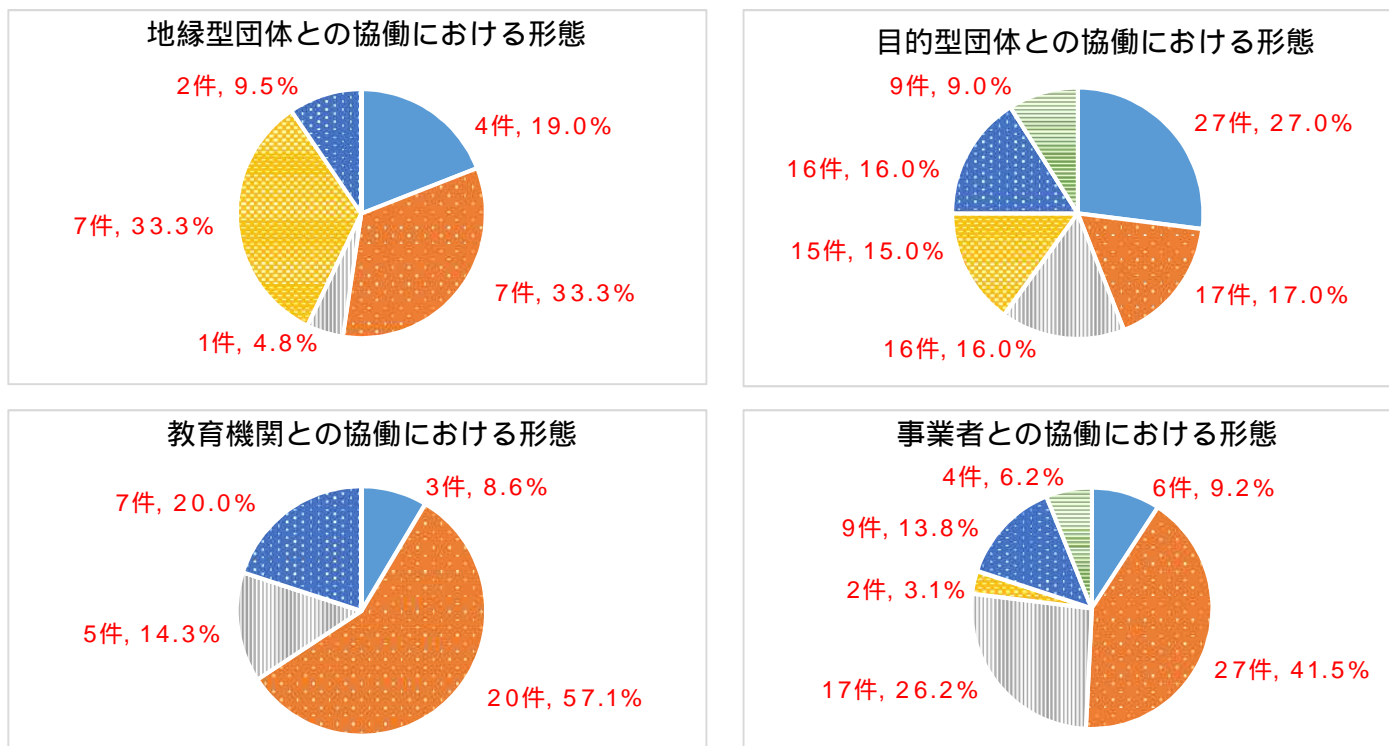
グラフ1 協働先



グラフ2 協働の形態



グラフ3 協働先ごとに見る協働の形態



4 まとめ

1の後援・協賛の件数は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、感染拡大以前に近い件数になった。2の審議会等の開催状況には大きな変化はなく、パブリックコメントは総合計画の策定等のため実施回数が多かった昨年に比較し減少したが、提出人数や意見数に大きな変化は見られなかったため、各回に対する提出者が増加したことが分かる。

3の令和4年度に実施した協働事業について、件数としては特に目的型活動団体や事業者との協働の件数が増加し、割合としては目的型活動団体が最も高い(グラフ1)。形態としては、市主体での事業が最も増加し、割合としても最も高い(グラフ2)。

グラフ3は、グラフ2の結果を協働先ごとに別けたものであるが、地縁型活動団体は実行委員会や協議会として主催となるケースが多く、イベント等のノウハウを持っていることが強みであると考えられる。また、目的型活動団体には多様な協働形態がバランスよく存在しており、各事業にあった形態を選択していると考えられる。